

市議会だより

 **しぶかわ**

発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2021年〈令和3年〉
11月15日 第**64**号



広報と一緒にとして保存しましょう

令和3年

表紙の写真：コロナ禍でも豊作だった
橘小学校の稲刈り

9月渋川市議会定例会

■ 本会議のあらまし	2ページ
■ 常任委員会の審査	3～4ページ
■ 高木市長の施政方針説明	5ページ
■ 令和2年度渋川市決算を審査（決算特別委員会）	6～8ページ
■ 一般質問（9人の議員が市政を問う）	10～15ページ

令和3年 9月定例会

決算は認定、補正予算は全員一致で可決

あらまし

令和3年9月定例会は、9月21日から10月12日までの22日間の日程で開催されました。市長施政方針の説明、市長専決処分の報告1件、人事案件、条例の制定・一部改正、令和3年度補正予算、令和2年度決算等の35議案、請願2件、議長不信任動議が提出され、一部を除いて各常任委員会、決算特別委員会に付託し、慎重に審議を行いました。議案はすべて原案のとおり可決、同意、認定しました。請願2件は採択し、国への意見書提出及び市長へ請願について結果の報告を求めることとなりました。議長不信任動議は多数決で可決しました。

市長専決処分の報告

公用車が後退した際、駐車中の乗用車に接触し、破損させた事案について、和解及び損害賠償の報告がありました。

人権擁護委員候補者の推薦の同意

令和3年12月31日の任期満了に伴い、飯島八千代氏、池田由美子氏、兵藤幸子氏が推薦され、全員一致で同意しました。

過疎地域持続的発展計画の策定

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の対象地域に伊香保地区、

小野上地区及び赤城地区がなりました。地域の持続的発展に向けて、総合的かつ計画的な対策を実施するため、計画を策定するもので、全員一致で可決しました。

過疎対策のための市税(固定資産税)の課税の特例に関する条例

過疎地域における固定資産税の課税を免除するため、条例を制定するもので、全員一致で可決しました。

認知症とともに生きる地域ふれあい条例

市、認知症の人、市民等、地域組織、事業者及び関係機関が、認知症の人の視点

や意思とその家族の思いを重視しながら役割を果たし、人と人とがふれあい、認知症と共生する意識を醸成することで、住み慣れた場所で暮らせる地域を実現することを目的に条例を制定するもので、全員一致で可決しました。

渋川駅西側地区地区計画内における建築物の制限に関する条例・八木原駅周辺地区地区計画内における建築物の制限に関する条例

渋川駅西側地区及び八木原駅周辺地区の地区計画内における建築物に関する制限を定め、適正な都市機能と健全な都市環境を確保す

ることを目的に条例を制定するもので、それぞれ全員一致で可決しました。



渋川駅西側地区

令和3年度一般会計補正予算(第7号・第8号・第9号) 主に、第7号はコロナ対策事業、第8号は美術館移転や地域道路の緊急対策等に係る事業、第9号はコロナ感染症ワクチン接種事業のための予算で、すべて全員一致で可決しました。

令和2年度決算

一般会計のほか、国民健康保険など7件の特別会計、水道事業会計と下水道事業等会計についてすべて認定しました。

美術館条例の一部改正

美術館の移転及び運営協会の設置をするもので、全員一致で可決しました。

常任委員会の審査

総務市民

浜川市過疎地域持続的発展計画の策定について

質疑

この計画に対しての市民意見公募の結果は。

【答弁】 令和3年7月21日から8月20日まで市民意見公募を実施し、1名からご意見をいただきました。

質疑

この計画の評価をどのように行っていくのか。

【答弁】 浜川市まち・ひと・しごと創生検討会議を設置していますので、その中で評価の検証を行いたいと現在考えています。

質疑

事業内容が多く、過疎地域のために特化したやり方をし、かつ、他の計画にも整合性を持たせていかなければならない。その辺を詳細に詰めていかないと計画倒れになってしまうのではないか。

【答弁】 それぞれの計画と整合性を持たせてつくった計画なので、計画倒れにならないようしっかりと検証していきます。

質疑

地域コミュニティ活性化対策として行政事務委託料の交付に当たって地域性を加味した交付を考えているか。

【答弁】 具体的な検討は行っておりませんので、今後必要に応じて検討を行っていききたいと思います。

浜川市過疎対策のための市税(固定資産税)の課税の特例に関する条例

質疑

固定資産税が免除されるというアナウンスが必要だと思うが、そのことについて今後の対応は。

【答弁】 この議案が可決された後、免除対象等をホームページに掲載していきます。

付託されたら議案はすべて全会一致で可決し、請願

1件は願意に沿いがたく、不採択となりました。

総務市民常任委員会協議会

市から次の事項について、報告・説明がありました。

- ・旧浜川市立刀川小学校利用事業の中止について
- ・第2期浜川市空家等対策計画(案)について

経済建設

市道の廃止・認定について

赤城町深山及び北赤城山地区内の4路線を林業専用道小原峯線整備により廃止し、新たに1路線を認定するものです。全会一致で可決しました。

浜川市浜川駅西側地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

まとまりのある都市環境を形成し、浜川市の顔とし

てふさわしい健全なまちづくりを推進するため条例を制定するものです。全会一致で可決しました。この条例の施行により、風俗営業等に供する建物は建築できなくなり、この条例に違反した者は10万円以下の罰金が科されます。

浜川市八木原駅周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

八木原駅の利便性を生かした良好な居住環境の形成及び土地利用コントロール等を行うため条例を制定するものです。全会一致で可決しました。この条例の施行により、指定区域内における建築物に制限が設けられます。また、この条例に違反した者は、10万円以下の罰金が科されます。

経済建設常任委員会協議会

市から次の事項について、報告・説明がありました。
・第3期浜川市耐震改修促進計画(案)の策定について

・都市計画関連の計画等の策定について

教育福祉

浜川市ふるさと文化基金条例の一部を改正する条例

基金の活用範囲をより幅広くするための改正です。全会一致で可決しました。

質疑

改正前と改正後の具体的な活用方法は。

【答弁】 これまで地域の祭り等の応援事業など、文化の伝承に活用してきましたが、市民が学ぶ機会の提供等にも範囲を広げ、ふるさと浜川を愛する人づくりに活用していきます。

浜川市美術館・桑原巨守彫刻美術館条例の一部を改正する条例

美術館の移転に伴う位置の変更と新たに美術館運営協議会を設置する改正です。全会一致で可決しました。
質疑 運営協議会の委員はどのように誰が選ぶのか。
【答弁】 学校や美術関係の団

※プロポーザル

企画・提案の意味。業務委託等に際し、目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行ったものを選定すること。

体に人選をお願いし、公募委員として市民の中から1名を公募します。

渋川市認知症とともに生きる地域ふれあい条例

人と人がふれあい、認知症とともに生きる地域の実現に向けて、基本理念を掲げ、それぞれの役割等の周知を図る条例です。全会一致で可決しました。

質疑 条例を制定するに当たって、メリット・デメリット、必要性は。

答弁 メリットは認知症に関する理解を促進し、市民サービスにつながるものと思っております。デメリットについては想定しておりません。

請願1件は採択しました。

教育福祉常任委員会協議会

市から次の事項について、報告・説明がありました。

- ・ 渋川市学校給食調理場再編整備事業(伊香保地区)

について

- ・ 渋川市美術館・桑原巨守

彫刻美術館の移転に係る進捗よく状況等について



伊香保中学校給食調理場

予算

一般会計補正予算(第8号)は美術館の移転や地域の道路の緊急対策工事等のための予算で、全会一致で可決しました。

このほか付託された特別会計補正予算4議案と水道事業会計補正予算1議案もすべて全会一致で可決しました。

養育費確保支援事業

質疑 経費の対象となるも

のとならないものは。

答弁 公証人手数料、公正証書の用紙代金、戸籍謄本等の取得費用、支払い義務者に公正証書を送付する際の費用を見込んでいます。

美術館移転事業

質疑 工期が1年半しかないが間に合うのか。

答弁 用途変更の申請から許可に係る期間は流動的な部分があります。改修工事は許可が下り次第、速やかに実施していきます。開館目標を令和5年4月に定め、進めていきます。

水道事業会計補正予算について

質疑 水道料金等システム更新に伴うプロポーザル実施の日程等は。

答弁 2月頃に対象業者を決め、その後7カ月程度準備し、プロポーザルを実施していきます。

渋川市議会議長の不信任動議を多数決で可決

提出理由：望月議長は市民から提出された「歴史的価値のある硯石の原状回復を求める請願書」のコピーを勝手に持ち出し、請願者の関係者に漏らすなど公正公平な議会運営が行われていないため。

反対

根本である請願書については市の調査委員会、議会の特別委員会の調査報告の内容と反することが書かれている。内容が不正確な請願を採択し、それに基づいて不信任というのは全くあり得ないことである。

この動議は推論に基づいて、本人の感情だけでやっており、許されるものではない。

賛成

議長は市民から提出された請願書のコピーを勝手に持ち出し、請願者の関係者を介し、請願者に請願を取り下げするように圧力をかけた。議会を代表する議長としてあるまじき行為である。

議長の一連の行為は市民の渋川市議会に対する信用を大きく傷つけ、その責任は免れることはできない。

討論

※なお、議長不信任の可決について、法的拘束力はありません。

2期目がスタート

高木市長の施政方針説明

2期目の市政運営に臨む所信の一端が、市長から説明されました。それに対する議員からの質疑、市長の答弁の一部を紹介します。

市長施政方針（抜粋）

1. コロナ禍に立ち向かい「市民の命と暮らしを守り抜く」
2. 誰もが自分らしく輝いて暮らせる「共生社会」の実現
3. 渋川で暮らす喜びを実感「子育て・教育環境のさらなる充実」
4. 人生100年を渋川でいきいきと暮らす「暮らしを守る保健・医療・福祉の充実」
5. 災害に強い、地域が輝く、市民がつながる「市民の暮らしの充実と防災都市の実現」
6. 渋川発展の原動力となる力強い経済「産業の振興と交通網の整備」
7. 日本の名湯伊香保温泉を核とした新たな観光魅力創造「伊香保温泉、文化、自然など多様な観光資源の活用」
8. ふるさとに誇りを持ち未来を創る「地方再生へのチャレンジ」
9. 新たな息吹を地域にもたらす「移住・定住の促進と人口減少対策」
10. 新たな時代を展望「デジタル改革の推進と持続可能な行財政運営」

コロナ禍に立ち向かい「市民の命と暮らしを守り抜く」

質疑 本市のコロナワクチンの接種状況は。

答弁 9月16日現在、1回目の12歳以上に対する接種状況は76・4%で本市は群馬県の中でもトップクラスです。10月には希望するすべてのの方にワクチン接種を完了させていきたいと思っています。

渋川で暮らす喜びを実感「子育て・教育環境のさらなる充実」

質疑 「日本一の教育都市渋川」を目指すとは。また、「渋川版ネウボラ制度」の導入とは。

答弁 地域とともに子どもを育てる環境を進めます。また、妊娠から出産、周産

期、子育てと一貫して子どもを育てていく環境をつくっていきます。本市は子育て支援総合センターを設けて現在取り組んでいます。

災害に強い、地域が輝く、市民がつながる「市民の暮らしの充実と防災都市の実現」

質疑 気象防災アドバイザーを任命したが、どのような活躍をされているか。また、防災対策はどのように変化しているのか。

答弁 気象防災アドバイザーには自治会等への気象災害についての講演会や地域防災計画の抜本的な見直しなどさまざまな活動をしていただいております。

女性目線、そしてコロナ禍でどう防災体制をとるべきかなど地域防災計画の抜本的見直しに取り組んでいます。

渋川発展の原動力となる力強い経済「産業の振興と交通網の整備」

質疑 新産業ゾーンについて

て具体的な展開の進捗よく状況は。

答弁 現在まで市内7カ所でさまざまな調査を進めてきました。その中から渋川伊香保インター周辺を先行して調査を進めていきます。

ふるさとに誇りを持ち未来を創る「地方再生へのチャレンジ」

質疑 地方再生へのチャレンジについて、脱炭素社会の実現に取り組むとあるが、具体的な内容は。

答弁 デジタルと併せてグリーン社会をつくっていくことを今、国を挙げて取り組んでおります。地球温暖化を防ぐため、自動運転バスの実証実験も本市において何度か行われております。もったいない条例等、さまざまな観点から脱炭素社会を積極的に進めることによって暮らしやすい社会、力強い経済にもつなげていきたいと思えます。

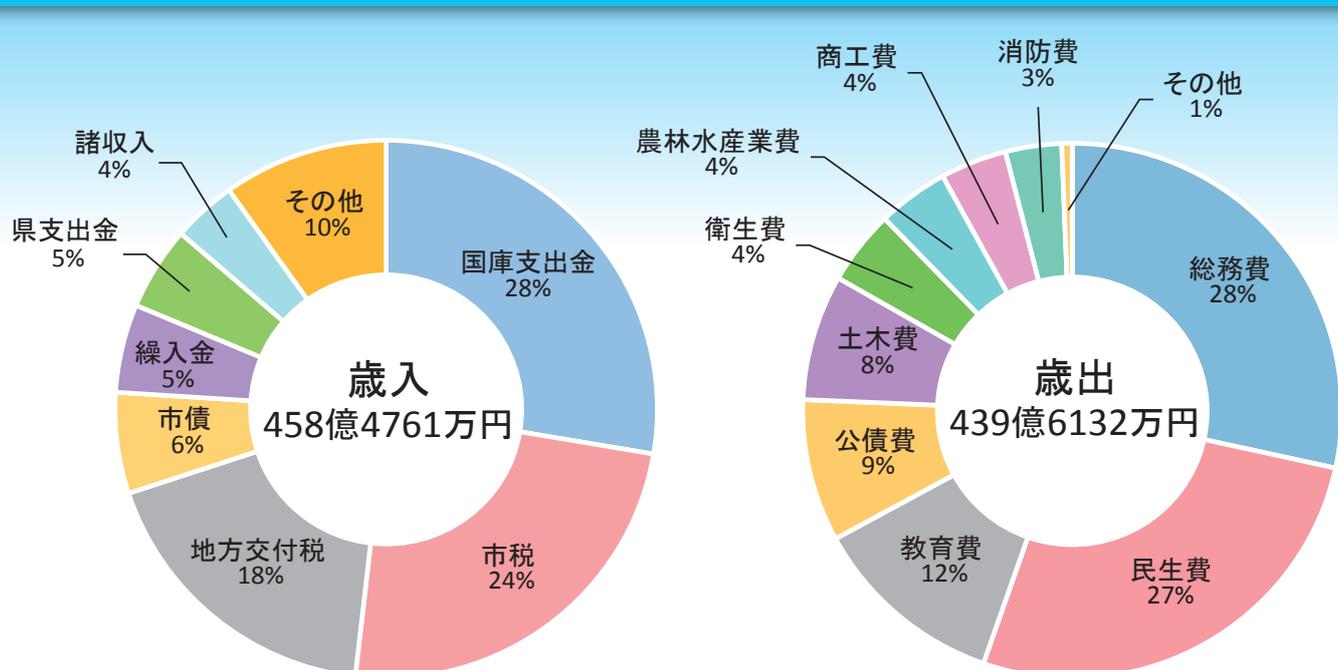
歳入額 720億5093万7376円
 歳出額 711億3902万7862円

令和2年度決算を認定

（決算特別委員会）

		歳入	歳出	
一般会計		458億4761万3850円	439億6132万9174円	
特別会計	国民健康保険	90億2828万1452円	88億8362万1619円	
	後期高齢者医療	10億9893万2173円	10億9323万5835円	
	介護保険	91億 428万6068円	88億5617万 689円	
	農産物直売事業	547万8440円	422万9907円	
	伊香保温泉観光施設事業	2億4055万6516円	2億3292万1473円	
	小野上温泉事業	5897万2109円	5897万2109円	
	交流促進センター事業	6179万1998円	5394万8998円	
企業会計	水道事業	収益的収入・支出	18億 517万5526円	17億6269万4050円
		資本的収入・支出	9187万1616円	10億2566万 487円
	下水道事業等	収益的収入・支出	28億2703万2767円	25億4751万2066円
		資本的収入・支出	18億8094万4861円	26億5873万1455円

一般会計決算額の内訳



みなさんの税金の使い道の一部です

<p>土木費 33億3620万円</p> <p>生活道路等緊急整備事業 4884万円</p> <p>公園トイレ洋式化 整備事業 849万円</p> 	<p>教育費 51億4611万円</p> <p>通学バス運行事業 2億1247万円</p> <p>新しい学校生活実践事業 3760万円</p> 	<p>民生費 118億2043万円</p> <p>自立支援給付事業 16億8378万円</p> <p>放課後児童健全育成事業 1億7288万円</p> 	<p>総務費 125億3124万円</p> <p>情報システム運用事業 2億487万円</p> <p>乗合バス運行費補助事業 1億5890万円</p> 
<p>消防費 14億7976万円</p> <p>分団詰所整備事業 5981万円</p> <p>災害時非常用電源車 整備事業 2420万円</p> 	<p>商工費 17億4693万円</p> <p>しぶかわ元気券発行事業 4億8030万円</p> <p>安心安全誘客支援事業 2673万円</p> 	<p>農林水産業費 18億7629万円</p> <p>有害鳥獣対策事業 3108万円</p> <p>ドライブマルシェ 実施事業 200万円</p> 	<p>衛生費 19億7049万円</p> <p>感染症予防事業 2億5814万円</p> <p>がん対策事業 4155万円</p> 

令和2年度一般会計

令和2年度一般会計決算、国民健康保険特別会計決算及び介護保険特別会計決算は多数決、そのほかの決算は全会一致で原案のとおり認定されました。
決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

行政事務執行適正化推進事業

質疑 コンプライアンス研修の成果は。

答弁 講師を招き課長級以上の職員を対象にコンプライアンス研修を1回実施しました。成果は表れているのではないかと理解しています。

自治会連合会等支援事業

質疑 自治会連合会等支援事業の不用額が多い理由は。

答弁 新型コロナウイルスの影響により、視察研修が中止となったこと等によるものです。

バス交通デマンド化検証事業

質疑 検証事業の成果と課題は。

答弁 実証実験では地理的条件等を整理した上で利用状況を把握し、それに応じた輸送手段の妥当性を検証しています。課題はデマンド型交通の場合、利用者1人当たりの運行経費増大です。実証実験や試行運転の成果の検証が重要になると考えます。



北橘地区を走るデマンドバス

※有収水量

給水量のうち料金徴収の対象となった水量のこと。

がん対策事業

質疑 令和2年度のがん検診の受診率が低いのはなぜか。また、市の目標とする受診率ほどのぐらいか。

〔答弁〕 コロナ禍で緊急事態宣言の発出によるすべての検診の延期に伴い、日程の組み替え、検診の予約制の導入などにより受診率が低下しています。受診率目標は50%を目指しています。

住宅リフォーム促進事業

質疑 大変人気のある事業と思われ、申込受付がすぐに終わってしまうようであるが、令和2年度はいつ頃申し込みが終了したのか。

〔答弁〕 好評な事業のため、毎年早期に予算に達してまいります。そのため昨年度は申し込みを2期に分けて行いました。前期は4月1日から5月28日の間に67件の申し込みがありました。後期は10月1日の申込開始日に52件の申し込みがあり、上限に達したため、受付終了となりました。

農業者経営継続応援事業

質疑 新型コロナの影響を受け、経営が悪化した農家へ3万円の交付支援を行った成果は。

〔答弁〕 合計で80件の農家を支援いたしました。内訳は果樹13件、花き12件、酪農15件、肉用牛関係12件、野菜25件、その他3件です。

有害鳥獣対策事業

質疑 どのような体制で取り組んでいるのか。また、継続させていかなければならない事業だと思いが、今後についての考えは。

〔答弁〕 9隊、103名に捕獲隊として活動していただいています。知り合いや興味がある方など、少しでも隊員を増やしながら継続できるようにしていきます。また、狩猟免許取得の経費を今年度予算に組みました。

しぶかわ元気券発行事業

質疑 売れ残りの券の販売方法について、どのような問題点があったか。また、改善策は。

〔答弁〕 今回はあくまでも市内の消費喚起を速やかに、経済を回す考えを優先いたしました。今後類似する施策を考える際にはきちんと制限を設けるような方法も取り入れていく必要があると思います。

詐欺被害等対策事業

質疑 詐欺被害対策電話機等の補助の成果は。また、市内の詐欺被害について。

〔答弁〕 群馬県警では詐欺被害防止機能付装置を設置した場合、不審電話が8割減少したと実証されています。実際に詐欺被害防止機能付装置を設置して被害に遭われた方はいませんでした。また、市内被害件数は9件、被害総額は1077万円です。

健康づくり支援事業

質疑 赤城健康公園で体験会を2回開催したが、参加者の感想や成果は。

〔答弁〕 参加者へ行ったアンケートによると、全員が「良い」との感想でした。また、

今後の利用についても「また利用したい」という全員感想でした。その後にながっているのではないかと思います。



整備された赤城健康公園

小中学校不登校対策事業

質疑 児童生徒一人一人に合った支援が必要だと思うが、どう考えているか。

〔答弁〕 一人一人に合った対応と不登校の原因を見極めることが重要だと思います。適応指導教室「かけはし」と相談しながらその児童生徒に合った対応を考えていきます。

令和2年度特別会計等

国民健康保険特別会計・事業助定

質疑 若年者健康推進事業の健診受診者139人、保健指導終了者13人は少ないか。

〔答弁〕 例年は750〜800人の受診者がいますが、昨年度はコロナの影響で受診の機会が少なくなったりしたためと思われます。

質疑 24時間電話健康相談の主な相談内容は。

〔答弁〕 病気の症状と治療に関する相談が半数を占めております。

水道事業会計

質疑 有収水量率が低いのは漏水箇所が多いことが原因かと察するが、現状は。

〔答弁〕 有収水量率が低い原因として施設の老朽化による漏水や、軽石層の地形が多く、漏水が地表に出てこないため発見しづらいことが挙げられます。

第3回
臨時会のあらまし
(8月12日開催)

【一般会計補正予算
(第6号)】

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機を余儀なくされている方に食品や日用品を支給するための予算、新型コロナウイルス生活経済安定対策として、まん延防止等重点措置などの実施により影響を受けている飲食関連事業者を支援するための予算などで、全員一致で可決しました。

【国民健康保険特別会計
補正予算(第2号)】

新型コロナウイルス感染症に感染した国民健康保険被保険者である個人事業主に、傷病見舞金を支給するものです。支給額は被保険者1人につき20万円(1回限り)です。全員一致で可決しました。

本会議における渋川市長の答弁の真偽に関する調査特別委員会

6月中に3回、7月中に2回開催し、証人尋問で得られた証言内容の整理、審査報告書のまとめ方の検討、協議を行いました。

その中で、いくつかの証言に食い違いが認められました。その整理に当たり、虚偽の陳述として告発の必要性も含め、さまざまな意見が出されました。委員会では真実の追究に限界があるので司法の判断に任せてはどうかという意見や、委員会で判断できないものは告発すべきではないという意見がありました。

今後も引き続き審査報告に向けて、協議を進めていきます。



討論

討

9月定例会で行われた主な討論について、概要を報告します。
討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることを言います。

「令和2年度渋川市一般会計歳入歳出決算について」

賛成

歳出ではコロナの交付金を活用し、多くのコロナ対策事業を迅速に実施しつつ、事業の中止や見直しによる不用予算を市債繰上償還に当てるなど財政健全化に努めた。

その結果、前年度に比べ經常収支比率は1・1ポイント、将来負担比率は3・5ポイント改善し、一定の財政運営はできたものと評価する。

地域コミュニティの活性化や移住者支援など、各分野のさまざまな事業の積極的な取り組みは、市の活性化や安全・安心な市民生活の確保につながったものと認識する。

反対

コロナ対策では医療機関、医療従事者への支援、待遇改善等を求めてきたが、わずかな支援にとどまった。また、事業所、学校などに対する大規模定期検査の実施を求めたが、実施されなかった。

森林法違反を認めながら対処しなかったことは大きな責任があると言わざるを得ず、市道のスラッグ問題も妨害排除請求が認定されたにも関わらず、控訴したことは承服できない。

コロナの影響で経営難に直面している事業者に対し、市独自の支援を強化し、支えるべき。

請願・陳情

◎義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の請願について・・・【採択】

◎歴史的価値のある硯石の原状回復を求める請願書・・・【採択】

渋川市議会はインターネット中継しています。
市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス
<http://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>
パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。

右の二次元コードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。



一般質問

～9人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 11 安力川 信之 議員

- 持続可能な渋川モデルを
 - 1 ゴミ減量化の取組
 - 2 ひとり親家庭の支援
 - 3 教育格差の是正
 - 4 デジタル化の推進とネット被害者への支援

P 12 須田 勝 議員

- 市民のしあわせが第一
 - 1 再生から創造へ
 - 2 選挙改革
 - 3 敷島駅周辺整備

P 13 後藤 弘一 議員

- 運動施設の整備について
- 市内小中学校の新型コロナ対策について
- 道路整備と安全管理について

P 14 角田 喜和 議員

- 通学路の安全対策について
- 防災対策について
- 新型コロナ感染症から市民を守る対策について

P 15 山崎 正男 議員

- 建築基準法による道路後退
- 新型コロナ感染症による、観光政策と農業政策に関して

P 11 田村 なつ江 議員

- 高木市政2期目に向けた意気込みを
- 市独自の新型コロナ対応
- 観光振興

P 12 板倉 正和 議員

- 明日の渋川を拓くまちづくり
 - 1 2期目の公約「明日の渋川を拓く10のプラン」の実現に向けて
 - 2 新型コロナウイルス対応
 - 3 移住・定住政策について

P 13 茂木 弘伸 議員

- 渋川市のゴミ問題について
- 環境美化問題について

P 14 加藤 幸子 議員

- 今回の市長選について
- 高木市長の今後の施政方針について



一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問

※マイクロツーリズム 自宅から1～2時間圏内の近距離旅行のこと。
 ※ワーケーション 仕事(ワーク)と休暇(バケーション)を組み合わせた造語。観光地などでテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方のこと。



安力川信之

持続可能な渋川モデルを

粗大ごみの自宅収集を

質問 電話予約で机や家電などの粗大ごみを自宅まで引き取りに来てくれるサービスを。廃校舎などを活用して不要品を欲しい人に譲るためのリユースセンター設置を。

市民環境部長

個別回収は、基準適合外の粗大ごみが出されるなどの課題解決策となるので、委託事業者と協議を進めます。リユースセンターは、粗大ごみの収集方法、保管が課題となるため、企業連携のリユース事業に取り組みます。

ひとり親家庭支援センターを

質問 半数のひとり親世帯が厳しい経済状況だ。離婚時の養育費確保の支援が必要だ。専門職によるひとり親家庭支援センターを。

市長

離婚時などの養育費確保のため、公正証書作成費用の助成制度を創設しました。今後も専用の相談窓口の設置など必要と思われる支援を行い、きめ細やかにひとり親の生活支援を行っていきます。

奨学金の返還支援を

質問 市独自の奨学金の免除制度



子育て応援のまち・渋川市

を。また、代理返還する企業を若者応援企業として認定して支援を。

教育部長

日本学生支援機構が取り入れた民間企業による代理返還制度の定着状況を見つつ、どのようなインセンティブを用意できるかなど、慎重に探っていきます。

ネット上での被害者支援を

質問 インターネット上で誹謗中傷されている市民の相談支援を。

市長

刑法改正や県の条例制定の動きを受け、市でも相談体制の構築、年度内の条例制定により、被害者への支援を行っていきます。



田村なつ江

生き生き暮らせる渋川市に

質問 高木市政2期目に向けた意気込みを。

市長

コロナ対策に全力を投入し収束後を見据え、愛する渋川のため全力を尽くしてまいります。

質問

市長の考える「市民に開かれた市政の発信」とは。

市長

市政の動きを市民に伝え、その意見を受けとめる、市民と行政が双方向になる市政を行います。

市独自の新型コロナウィルス対応

質問 濃厚接触者や自宅療養者への支援内容は。

市長戦略部長

市独自で日常生活に必要な物資の提供やごみ出しなどの支援を行うこととしました。

質問

ワクチン接種の状況と今後の見通しは。

スポーツ健康部長

10月末までに市民の約85%の人が2回目接種を完了する見込みです。今後も接種機会の確保に努めていきます。

質問

若年層への感染拡大を防ぐ取り組みをどう考えているか。

スポーツ健康部長

早期に若年者へのワクチン接種環境を整えた

め、接種率は順調に伸びています。

観光振興

質問 コロナ禍に対する観光への支援は。また今後の取り組みは。

産業観光部長

衛生管理基準を定め、市民の宿泊補助やマイクロツーリズム等を実施しました。加えてワーケーションを支援します。

質問

伊香保温泉では観光庁の予算事業が採択された。進ちよく状況は。

市長

ポストコロナを見据え、廃ホテルの撤去や高付加価値化に向けた改修工事に着手しています。



自宅待機者支援物品



須田 勝

再生から創造へ

再生から創造へ

質問 選挙公約である「明日の渋川を拓く高木つとむ10のプラン」の進め方は。

市長 コロナ禍や人口減少という時代の変革期に対応し、市民の命と暮らしを守るため、しっかりと責任を果たし、活力あるまちづくりに向け市政を推進していきます。

質問 8月29日の選挙における、低投票率の原因と投票率を向上させる方策は。

総務部長 緊急事態宣言下で投票を抑えた有権者がいたことが低投票率の一因だと考えています。今回の選挙ではターゲティング広告を新たに実施しました。

質問 市長選で、中澤代表監査委員が田邊候補者の後援会副会長として、あいさつをしている映像がネット上で流れた。公職選挙法第136条の2に抵触するのでは。

総務部長 監査委員の選挙運動については、その地位を利用した場合に法律に抵触するおそれがあり



再生が期待される駅周辺

ますので、疑いが持たれないように注意する必要があります。

敷島駅周辺整備

質問 現在までの取り組みや進

ちよく状況は。また、複数箇所の更地の所有者は市による活用に協力的な姿勢である。市や官民連携による開発計画や市の支援策は。

産業観光部長 商工会青年部と協議を行いました。進んでいない状況です。開発計画は、現在ございません。開業等の費用の補助制度がありますが、本地区は重点地区として上乘せしております。



板倉 正和

明日の渋川を拓くまちづくり

2期目の公約「明日の渋川を拓く10のプラン」の実現に向けて

質問 公約の実現に向けた体制づくりは。

市長 全体の政策を総合的に調整する市長戦略部を中心に、政策戦略会議で検討を行い、さまざまな施策を迅速に推進していきます。

新型コロナウイルス対応

質問 市有施設の利用の制限をどのような基準で決めているのか。

危機管理監 国や県の要請を受け、市のコロナ対策本部会議を開催し、警戒度に応じた各施設ごとの利用制限を協議しています。

質問 自宅待機者に対する渋川市独自の取り組みの経緯は。

市長戦略部長 複数の関係部署や県と調整を重ね、市民の不安にきめ細やかに寄り添う渋川市独自の支援モデルを立案いたしました。

質問 ポストコロナを見据えたまちづくりの取り組みは。

市長 コロナを抑えながら徐々に市内経済を循環させていくため、クーポン券の発行などで小規模事

業者の経営継続を支援します。

移住・定住政策について

質問 移住・定住を進めるための今年度の新規事業の取り組み状況及び既存拡充事業の状況は。

総合政策部長 婚姻等新生活開始に対し助成金を交付し、移住者の住宅支援や空き家リフォームなど補助金加算等の拡充を図りました。

質問 地方の暮らしやすさを実感してもらおうための取り組みは。

総合政策部長 移住希望者に渋川に来て市を知っていただくこと、お試し滞在費補助を行いました。



移住促進

一般質問



後藤 弘一

スポーツと教育、 そして地域に着目して

運動施設の整備

質問 屋外施設と周辺の除草、樹木の枝切りはどの程度で行い、どう工夫をしているのか。また、運動施設の維持管理に、競技団体やボランティア団体の活用の考えは。

スポーツ健康部長 定期的に巡回し必要に応じ除草等行っています。

市長 運動施設の管理を利用者と市が協働で行える仕組みが導入できるよう、検討を進めていきます。

質問 中村緑地公園整備の進捗状況は。

建設交通部長 中村緑地公園整備計画を策定し、現在、現地踏査を行い、スポーツ施設等の配置について検討している状況です。

市内小中学校の新型コロナウイルス感染症対策

質問 2学期の諸行事等、感染対策の具体的な工夫と、感染者等が発生した場合の対応は。

教育部長 運動会等で参加人数や観覧場所の制限等の対策を行い、思い出に残る行事となるよう工夫しています。感染者が確認された



農業者への思いやり！

場合は、保健所と連絡を取り合いながら丁寧に対応していきます。

道路整備と安全管理

質問 子持地区のコンクリート舗装の補修を市の総合的政策として実施できないか。

建設交通部長 他の地区と同様に緊急性や優先度を考慮して市道の補修を実施してまいります。

質問 農耕車優先道路の看板を設置できないか。

産業観光部長 交通安全対策の観点から、設置の必要性と表示方法について研究してまいります。



茂木 弘伸

渋川市のごみ問題について

質問 本市は、1日当たりのごみ排出量が県内12市中2位。ごみ処理費用の増加は、最終的に市民負担増となる。排出量削減対策は。

市民環境部長 再生可能なごみが相当量あると考えるので、分別の徹底と自治会等が取り組む資源ごみの回収量増が重要と考えます。

質問 資源ごみの持ち去り被害が出ているが、市には持ち去りに対する規定がないため、処罰ができない。条例制定の考えは。

市長 資源ごみ持ち去りの被害を防ぐためにも、早急に検討し年内に条例改正を行います。

質問 清掃センターの在り方について、市はどう把握しているか。

市民環境部長 稼働から28年を経過し広域組合で検討が開始されたばかりです。多額の予算を必要とするため、現行施設を延命化した上で、更新するものと考えます。

質問 粗大ごみ回収について、石原西自治会では支援に取り組んでいる。こうした取り組みを市内全域に広められないか。



石原西自治会の粗大ごみ支援活動

市民環境部長 重要な取り組みなので、さらに広がるよう回収に取り組む団体への支援を継続します。

質問 プラスチックごみの分別収集、削減に向けての取り組みは。

市民環境部長 渋川広域圏として、令和5年度もしくは6年度の分別収集開始を目標に協議を進めます。

質問 市の不法投棄ごみ対策は。

市民環境部長 投棄されたごみの放置がさらに投棄を助長したり災害を引き起こすと判断した場合、自治会や環境美化推進協議会と協力して撤去に努めています。



角田 喜和

スクールバス利用で 危険通学路回避を

質問 津久田小学校校区の通学路安

全点検の結果、変更した通学路には危険箇所がある。地元保護者も対策を望んでいるのでスクールバスの利用を認めるべきと考えるが。

教育部長 バスは、2・5km超の

通学距離を利用条件としています。

教育長 道路等の交通安全対策は、

関係機関と連携して取り組みます。子どもたちが危険回避能力を身に付けられるような指導を行うなど、状況に応じた安全対策を講じます。

質問 赤城地区を流れる一級河川の天竜川と田之郷川の一部に土管が埋められており、大規模災害発生時に土砂等でふさがれる危険性がある。河川法違反である。承知しているか。どう対処するのか。

建設交通部長 両河川とも一級河川であるため、群馬県が維持管理をしております。県に確認したところ、対応を検討中とのことでありました。今後の県の対応を注視し、引き続き適正管理を要望してまいります。

質問 新型コロナウイルス対策で



見直し後も危険な通学路

インフルエンザの時期と重なる第6波が来たときの対策が必要。12

歳未満のワクチン接種ができない子どもたちに無料で受けられる抗原検査や無症状者を見つけるためにも、無料のPCR検査が必要。予算をつけ体制を取るべき。

市長 日常的にPCR検査を行う

ことで本来の必要な検査体制に支障を生ずる懸念もあります。感染状況をみながら、第6波に備え、どのような対応を整えていくべきか、医師会等と協議を行い、必要な体制を検討していきます。



加藤 幸子

違法行為を許さない 市政の実現を

女性の尊厳を傷つける人権侵害

質問 市長選挙のチラシで、選挙

に関係ない女性職員の人権を傷つける宣伝がされた。卑劣で最低な行為であると思うが市長の見解は。

市長 今回の誹謗中傷は事実無根

の内容であり個人の社会的評価をおとしめ人格を攻撃するものです。法的手段も含め厳正に対処します。**なぜ告発しないのか**

質問 望月市議の関連する会社の

森林法違反を市は認めているのかも関わらず、なぜ告発しないのか。**市長** 無断伐採の森林法違反を行った行為者から造林を行う顛末書の提出を受け指導書を交付しました。これに従わない場合は告発に踏み切るなど、厳正に対応します。

議会で請願採択

質問 硯石の現状回復の請願が採択された。市長は期限を決めて望月氏へ現状回復を求め、現状回復をしなければ告発する考えはあるのか。

市長 議会において請願書が採択されたことから改めて望月氏に対



ジェンダー平等の社会を

し期限を付し現状回復を求めます。

農地法違反ではないか

質問 農業を営んでいない者の農地取得に関して、農地取得者が農業をしていなければ農地法違反で

は。その農地に生の鶏ふんを埋めている情報を農業委員会は持っているか。地目と税目も調査すべき。

農業委員会事務局長 農地の不適

正管理は是正指導を行っております。鶏ふんの情報提供はありました。

総務部長 農地に関する課税地目

は、農業委員会からの情報及び現地確認を行い決定しています。

一般質問



山崎 正男

渋川市発展のために

建築基準法の道路後退用地

質問 道路後退用地は市内にどのくらいあるか。また、すれ違いが楽になるように一部でも道路使用可能に整備を。

建設交通部長 平成30年度から令和2年度の3カ年で251件ありました。市の帰属となった後退用地は、既設道路路面に合わせ、順次整備を行っております。

新型コロナウイルス感染症による観光政策と農業政策に関して

質問 交流人口減による道の駅や観光農園の売り上げ大幅減の対策は。

産業観光部長 農畜産物と観光の宣伝活動の実施方法や開催する会場を検討し、道の駅や観光農園への交流人口の増加策を推進します。

質問 交流人口増大のために、民間やJRに働きかけて湘南新宿ラインの延伸を。

建設交通部長 観光事業者等と連携し、コロナ後の観光客誘客と湘南新宿ラインの乗り入れに今からできることを行なってまいります。



くいが打たれたままの道路後退

質問 石段街は整備により散策客でにぎやかさがある。ロープウェイ展望台から森林公園の広大な自然を将来的に伊香保の目玉としての活用を検討を。可能であれば誘客施設等の検討を。

市長 榛名東麓の自然を生かした観光地づくりを進めるため、まずは市全体の資源を磨き上げ広範囲に連携させていきます。併せて伊香保温泉の高付加価値化により、長期滞在を求める新たな観光ニーズにも、対応してまいります。

令和3年12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
		本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	一般質問	一般質問	
5	6	7	8	9	10	11
	一般質問	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)	休会	
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 (表決・閉会)					

○本会議は午前10時から開会します。
○日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

新議員の紹介



後藤 弘一 議員

令和3年8月29日執行の渋川市議会議員補欠選挙で、後藤弘一氏が当選されましたので紹介します。
なお、所属の常任委員会は経済建設常任委員会及び予算常任委員会です。

議会人事

○令和3年8月22日、田邊寛治議員が渋川市長選挙の立候補の届出により失職
○令和3年9月21日、石倉一夫議員が総務市民常任委員長に就任
○令和3年9月21日、中澤広行議員が経済建設常任委員会から総務市民常任委員会へ所属変更



令和3年9月定例会の審議結果

条例の制定 原案可決

- 渋川市過疎対策のための市税(固定資産税)の課税の特例に関する条例
- 渋川市認知症とともに生きる地域ふれあい条例
- 渋川市渋川駅西側地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例
- 渋川市八木原駅周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

条例の改正 原案可決

- 渋川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 渋川市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
- 渋川市ふるさと文化基金条例の一部を改正する条例
- 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館条例の一部を改正する条例

令和3年度補正予算 原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第7号)
- 渋川市一般会計補正予算(第8号)
- 渋川市一般会計補正予算(第9号)
- 渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 渋川市農産物直売事業特別会計補正予算(第1号)
- 渋川市交流促進センター事業特別会計補正予算(第1号)
- 渋川市水道事業会計補正予算(第1号)

人 事 同 意

- 人権擁護委員候補者の推薦について(3件)

人 事 選 挙

- 渋川地区広域市町村圏振興整備組合議会議員の選挙
- 烏帽子山植林組合議会議員の選挙

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて

令和2年度決算 認 定

- 渋川市一般会計歳入歳出決算について
- 渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市介護保険特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市農産物直売事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市小野上温泉事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市交流促進センター事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市水道事業会計決算について

令和2年度決算 原案可決・認 定

- 渋川市下水道事業等会計剰余金の処分及び決算について

請願・陳情 採 択

- 義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の請願について
- 歴史的価値のある硯石の原状回復を求める請願書

意 見 書 原案可決

- 義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

そ の 他 原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 渋川市過疎地域持続的発展計画の策定について

そ の 他 可 決

- 渋川市議会議長の不信任について

令和3年第3回臨時会の審議結果 (8月12日開催)

令和3年度補正予算 原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第6号)
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

編 集 後 記

渋川市の12歳以上に対する新型コロナウイルスワクチンの接種率が9割近くとなりました。

しかし、行動制限がない2年前の生活に戻ることはありません。これからは新型コロナウイルスの感染症対策と経済対策のバランスをとって新しい生活スタイルを確立することが求められます。

市民の生活の安心と安定、渋川市の持続的発展のために市長と議員が議論を重ねて、議会の役割を果たし、市民の幸せ、元気なまちづくりに取り組めます。

(編集委員 反町 英孝)

議会報編集委員会

- 委員長 山内 崇仁
- 副委員長 反町 英孝
- 委員 田村なつ江
- 委員 田中 猛夫
- 委員 山崎 正男
- 委員 加藤 幸子
- 委員 池田 祐輔

